

足湯ボランティアのあゆみ

阪神・淡路大震災(1995年1月)発災時に、鍼灸師の李章根さんが仕掛け人となって始まった活動です。

新潟・中越地震(2004年10月)時には、現CODEスタッフの吉椿雅道さんが小千谷の避難所、仮設住宅で足湯を行い、広めました。この活動の中越復興会議、fromHUS(大阪大学のボランティア)が継続して行いました。

能登半島地震(2007年3月)を契機に、中越・KOBE足湯隊が結成されました。



阪神・淡路から中越へ伝えられた足湯



2007.3.25
能登半島地震



2009.8.12
兵庫県西部水害



足湯は「きっかけ作り」に一役買っています。

学生が被災者の方から、足湯をしながらお話を聞くと、怖かった気持ちや不安を、より身近に感じることができ、被災地、被災者への理解や復興支援活動への取り組みきっかけになっています。

足湯は、出かける場、出会いの場、作りになっています。仮設住宅に集会所で行くと、「足湯があるから出てきた」、「友達を呼んでくるわ〜。」などと言われ、足湯の後も、話に花が咲いています。

被災者の思いや悩みを広く一般に知ってもらうきっかけ作りをしています。足湯で、被災者に寄り添い、つぶやきを拾い、集め、分析することで、復興制度の変革や復興支援への提言につなげています。



くらし再建の道筋

07・6・21 神戸新聞

能登半島地震

復興に力癒やしの足湯

ボランティア注目集まる

被災者の心を癒やす足湯が、復興支援の重要な役割を果たしている。被災地では、被災者の心を癒やす足湯が、復興支援の重要な役割を果たしている。被災地では、被災者の心を癒やす足湯が、復興支援の重要な役割を果たしている。

神戸、新潟の被災地の悩み蓄積

被災者の心を癒やす足湯が、復興支援の重要な役割を果たしている。被災地では、被災者の心を癒やす足湯が、復興支援の重要な役割を果たしている。

被災地以外でも足湯

- ・ 夕張(2007年5月)
- ・ 高島市社会福祉協議会(2008年7月)
- ・ 東京都北区社会福祉協議会(2008年9月)
- ・ 倉敷中央看護学院(2008年12月)
- ・ ひょうごボランティアプラザ社協研修(2009年1月)
- ・ 静岡県清水市社会福祉協議会(2009年12月)
- ・ 西宮市・高木小学校(2010年1月)
- ・ 徳島市防災センター(2010年1月)
- ・ 真宗大谷派ボランティア研修会(2010年2月)
- ・ 滋賀県社会福祉協議会(2010年3月)
- ・ 生活組合連合会きらり(2010年3月)
- ・ 岸和田市・土生神社(2010年11月)
- ・ 浄土真宗本願寺派災害ボランティア研修会(2011年2月)

「足湯ボランティア」が交流会
神戸・全国6大学の学生ら

復興の道

被災地で足湯ボランティア
大学生らが交流会

笑顔に会えた

法人税申告税額15億円減

金沢国税局まとめ

(2009.11.1 神戸新聞)

全国足湯ボランティアネットワークの準備

(2010.11.7 毎日新聞石川版)